

公表：令和 6年 3月 15日

事業所名 ごーるでんえっぐ野幌Ⅱ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				限られた状況下で満足できる療育内容を、人数や体格に合わせて提示するようにし、状況を保護者様に説明しています。これからも安全に楽しめるように配慮しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○			専用部分以外の場所に手洗い場、トイレがあり、バリアフリー化されていない状況です。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			明るく清潔な空間づくり、シンプルでわかりやすくを基本にしています。	毎日清掃・消毒を行っています。感染症防止の為に、こまめな換気、アルコール除菌を徹底しています。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			送迎時やお会いした時、SNSを活用し、意向を伺うようにしています。	年1回のアンケート、個別支援計画作成時、その他送迎時やお会いした時、SNSを利用して意向を伺うようにしています。必要な情報は職員間で共有しています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修会への参加、社内研修の実施をしています。	市内で行われる学習会・こども部会などに参加しています。社内研修は適宜行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者様と面談、職員間で話し合いをし、課題分析をした上で計画を立てています。	モニタリング・アセスメントを行い、ニーズや課題分析をしながら個別支援計画を作成しています。新たな希望などあれば随時、対応しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			同法人で統一したアセスメントシートを用いて継続性のある支援を行っています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童の心身状況に合わせて、最善の状況で活動を行えるよう作成しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				職員間で意見やアイデアを出し合い活動内容の見直しを運営行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				児童の成長、状況に応じて随時、内容の見直しを行い、柔軟性のある支援をしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			児童の状態を把握しながら、個別活動と集団活動を組み合わせる計画を作成しています。	児童の状態を把握しながら、個別と集団の活動のバランスを大切に、作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				前日の振り返り、引継ぎ事項の確認、その日の通所児童の確認、活動内容の確認、送迎等役割分担の確認を行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員専用のSNSツールを使い、全員が支援の状況を把握できるようにしています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			SNSツールを活用して、些細なことでも情報共有するようにしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				主に児童発達管理責任者が参加しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			関係機関と連携しながら支援を行っています。	各機関とは情報交換を行っています。各機関との連携を密にし、より良い支援に努めています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			医療的ケアが必要な児童はいません。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアが必要な児童はいません。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて電話連絡や訪問を行っています。お互いに情報共有できる体制を整えています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて電話連絡や訪問を行っています。お互いに情報共有できる体制を整えています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて電話連絡や訪問を行っています。お互いに情報共有できる体制を整えています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				感染状況など情勢を把握しながら検討しています。関係者と相談しながら進めています。

	②9	(自立支援)協議子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				江別市子ども部会はオンラインで実施しています。
	③0	口頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者様専用SNSの開設し、相談があった場合は児発管が即座に対応しています。	保護者様との情報共有を密にし、共通理解を促すように心がけています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			送迎時や面談時、SNSツールや電話などでお話しを伺い、必要に応じて助言を行っています。	
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っています。	その他問い合わせがあった場合には、管理者が適宜対応しています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や面談時、SNSツールや電話などでお話しを伺い、必要に応じて助言を行っています。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		感染状況など情勢を把握しながら連携を認めるような関係を目指しています。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者様専用SNSを開設し、相談しやすい体制を整え、必要に応じて助言しています。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			保護者様毎々のSNSツールに児童の活動時の様子を写真や動画を送っています。また法人のブログにて保護者様に情報を発信し、各店舗の様子を発信しています。	写真を送る際には、個人情報に配慮した内容にしています。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			職員全員に個人情報についての誓約書を取り、個人情報保護管理者の指示のもと漏洩が無いよう管理しています。	
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に合わせた支援ツールを作成し、円滑に疎通できるように工夫しています。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練(火災訓練・地震訓練)を予定しています。	令和5年9月に火災・地震訓練を実施しています。避難場所の確認を行っています。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか			○	保護者様からアレルギーの有無を確認し、職員で共有しています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				虐待防止に関する研修会に参加しています。日々の支援において、支援者一人一人が虐待に対しての意識を高く持つこと、職員間のコミュニケーションを図るようにしています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			契約書にて説明を行い、了承をいただいています。児童発達支援計画に記載はしていません。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。